

横浜訓盲学院だより

第5号 (平成17年11月号)

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181

事務部 TEL 045(641)2626 FAX045(641)2627

普通部 TEL, FAX 045(662)1710

理療科 TEL, FAX 045(662)1833

URI: <http://homepage3.nifty.com/kunmou/>

Email: kunmou-fu@nifty.com

Email: kunmou-ri@nifty.com

平成17年10月28日発行

学院長 はなわ 埜 ただし 忠蔵

特別支援教育に向けての 取り組みについて

はなわ ただし
学院長 埜 忠蔵

盲ろう養護学校が、今大きく変わろうとしています。平成16年12月に「特別支援教育を推進する制度の在り方について」の中間報告が公表され、これまでの特殊教育から特別支援教育への移行が推進されています。

特別支援教育が推進される中で、盲学校は全国的に児童生徒数の減少が進んでいますが、ここ数年は平行線をたどったままで推移しています。そして、視覚障害と他の障害を併せ持った重複障害児の割合が大きくなってきています。理療科（あんま・マッサージ・指圧師、鍼灸師の職業課程）においては中途失明で高年齢の方々が多く在籍しています。

このような盲学校の状況の中で訓盲学院として特別支援教育を次のように捉え、取り組みを推進しています。

特別支援教育の中で、学校はセンター的

役割を果たすと共に、障害種別の専門的知識、指導技術を継承し、発展させていくものです。

訓盲学院は地域のセンター的役割として、教育相談に専任職員を配置したり、支援部では、歩行、点字、生活に必要なIT技術の支援等に取り組んでいます。

専門性の支援として盲ろう教育部、弱視教育部を通して、専門的な教育に関する情報提供、教材教具や補助具等の相談・貸出に取り組んでいます。

このような取り組みを通して、乳幼児から成人期の自立に向けて支援し、社会の中で自分らしい生活が送れるよう地域に根付いた盲学校としての役割を担って行きたいと思えます。

★11月の聖句★

「自分を愛するように
あなたの隣人（となりびと）を
愛せよ」

マタイによる福音書22章39節

人生の黄金律と言われる有名な聖句です。自分を好きな分だけ、人の事も好きになれるのは真理のようです。さあ、今月も自分の好きな所をもうひとつ見つけていきましょう。

横浜訓盲学院の活動

■高等部普通科修学旅行

高等部3年生3名が7月13日より2泊3日で名古屋方面に行きました。

1日目は、「愛・地球博」に行き、アジアの外国館の見学やトラムに乗り会場を一周しました。二日目は水族館やイタリア村でのイタリア人の漕ぐゴンドラ、アクセサリーなどの買い物を楽しみました。

食べ物では名古屋名物の味噌カツ、うなぎの「ひつまぶし」料理を堪能しました。生徒に一番楽しかったことはとたずねると「ぜんぶだよ」と応えてくれました。家庭や児童施設から離れ、たくさんの楽しい思い出を残すことができました。



■四つ葉会70周年記念式典

四つ葉会とは、横浜訓盲学院の同窓会の名前です。同窓会が誕生して70年を向かえた記念として、10月1日(土)、桜木町駅前の横浜市健康福祉総合センターにおいて記念式典を行いました。記念の礼拝を行い会長の挨拶や来賓の祝辞の後、記念行事として、視覚障害者でエッセイストとして活躍している、三宮麻由子さんの「ここに元気、踏み出す勇気」と題した講演会。アマービシというマンドリンアンサンブルによるコンサートがありました。

今回は一般の人にも参加を呼びかけたせいか、たくさんの人の来場があり、70周年記念にふさわしい大変盛り上がった催しとなり幕をとじました。



■PTAグループホーム見学

10月6日、PTA成人教育の企画で横浜訓盲院（盲児施設）が運営する視覚障害者のグループホーム「大きな家」と「さくら」におじゃましました。ともに3階建てのモダンな建物で、「大きな家」は男性、「さくら」は女性がそれぞれ4名ずつ生活しています。

グループホームと言えば知的障害者や高齢者のものが一般的ですが、ここは全国でも初めての視覚障害者のグループホームです。朝晩の食事は世話人さんが用意しますが、基本的には“自分のことは自分です”というスタイルです。洗濯に掃除、一人暮らしを目指して自炊している利用者もいるそうです。利用者さんは、昼間は地域作業所などで働いています。余暇活動は自由で、ガイドヘルパーさんと出かけることもしばしばだそうです。見学のときは利用者さんに会えませんでした。どことなく暖かみのある雰囲気がいっぱいでした。

見学に行った保護者の方々も「自分の子どもがグループホームを利用するとしたら…」という思いで、積極的に話を聞き、また質問していました。世話人さんの食事がおいしくて体重が心配！ということも冗談で話されていましたよ。グループホームの関係の皆さんありがとうございました。



理療科臨床実習のご案内

■当学院では授業の一環として
あんま・マッサージ・指圧および
はり灸の臨床（治療）を行って
おります。是非ご利用下さい。

★あんま・マッサージ・指圧
……………月・水・木曜日

★はり灸 ……………火・金曜日

★料金 一律 1000円

★ご予約はお電話で！

（当日の朝 8:45～9:10）

電話 090-9009-5882

★お問い合わせは理療科まで

電話 045-662-1833

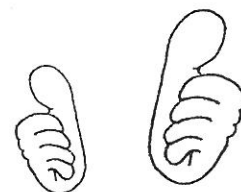
■患者さんからのひと言

バザーの際のマッサージ体験がきっかけで
臨床室に通うようになり3年になります。

今では諸症状の改善に驚きつつ以前とは比べ
ようがないほど生き生きと毎日が送れている
次第です。先生のアドバイスにより自分の身
体に耳を傾ける事を心がけるようにもなりま
した。3年間その都度体調に合わせて治療を
調整して下さるなど、熱意ある姿勢で取り組
んで頂いたことに感謝の気持ちで一杯です。
これからも臨床室の更なる発展に期待してい
ます。

理療科ミニコラム

思うツボ



今回はどうしてツボが発見されたのかなって事を書きました。

古代の人はそうやって発見した沢山のツボをつなぎ合わせて、経絡を発見したよう
です。そうして、経絡の範囲内にある部分は、その経絡の末端で治療できると言っ
ています。ですから、具合が悪くて困っている身体の一部から、遠く離れた場所を
刺激すると、手品か魔法にかかったように治ってしまい、びっくりしてしまう。…
なんて事が起こるわけです。

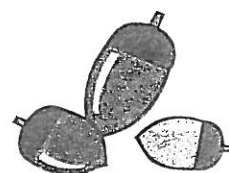
例えば、モノモライという病気があります。眼科に行ってメスで切開してもらい、
薬を塗られて眼帯をする。片目で物を見るってすご〜く不便！ こんな経験した事あ
りませんか？ こんな時、鍼灸師の所に行って、手の合谷というツボにお灸をしてもら
ってご覧下さい。遅くとも翌々日にはモノモライが完治すること請け合いです。

昔から「面目合谷に治む」と言い、モノモライや鼻づまりの特効穴とされている
のです。これを読んだからと言ってくれぐれも素人療法はなさらないで下さいね。
プロの指導を受けてからにしましょう。（宏）

■ご寄付のお礼

7月～10月にかけて下記の方々よりご寄付をいただきました。
ここにご報告させていただきますとともに心よりお礼申し上げます。

- 小島凜土様
- ベルマーク教育助成財団様
- 神奈川県眼科医会様
- みずほ教育福祉財団様



平成17年度 後期の行事予定

- 10月13日(木) 後期始業式
- 15日(土) 学校開放「音楽会ハンドベル」
- 11月 3日(木・祝) 普通部保護者参観日
- 19日(土) P T Aバザー
- 12月22日(木) クリスマス祝会
- 26日(月)～1月6日(木) 冬休み
- 1月28日(土) 学校開放「お餅つき」
- 2月21日(火) 普通部保護者参観日
- 2月25日～26日 あはき国家試験
- 3月 8日(水) 普通部マラソン大会
- 16日(木) 平成17年度卒業式・修了式
- 17日(金)～4月7日(金) 春休み
- 4月10日(月) 18年度入学式

※理療科では、3月に院外臨床実習として、鷺山町内会、豆口台町内会、柏葉町内会、麦田町ケアプラザ、大和町町内会などに伺う予定です。

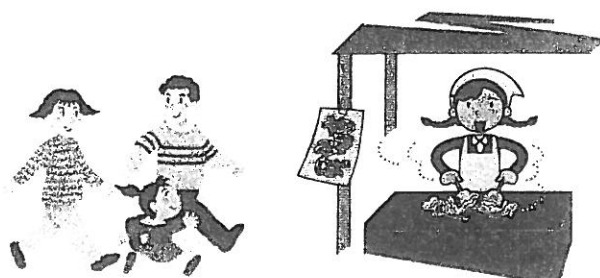
バザー献品も
よろしくお願ひします！

■ P T A バザーのご案内

今年もP T Aではバザーを開催いたします。当日は居酒屋「和民」の焼きそば・お好み焼き、生花の鉢植え、生徒の手作り作品、ゲームコーナー、お買い得な雑貨など、楽しい催しが目白押し。理療科によるクイックマッサージ（無料）も大人気です。また、地域交流フリーマーケットコーナーもありますので、ぜひ、足をお運び下さい。

日時：平成17年11月19日（土）
12:00～15:00

場所：横浜訓盲院講堂および前庭、
施設屋上



***** 平成18年度生徒募集 *****

『高等部理療科 生徒募集』

- 募集定員
 - ・本科保健理療科（3年課程） 1年生10名
 - ・専攻科理療科（3年課程） 1年生10名
- 募集期間
 - ・平成17年10月3日～平成18年3月20日
- 入学試験
 - 随時募集、随時試験。出願書類受付後、試験日を決め実施します。
- お問い合わせ
 - 横浜訓盲学院理療科
 - 電話045（662）1833

『普通部 幼児・児童・生徒募集』

- 募集定員
 - ・幼稚部（3歳児・4歳児・5歳児）計6名
 - ・小学部 1年生 5名
 - ・中学部 1年生 6名
 - ・高等部普通科1年生 7名
- 募集期間
 - ・一次募集 平成18年1月10日～2月15日
 - ・二次募集 平成18年2月20日～3月8日
- 入学検定方法
 - 本人及び保護者との面接によって決定します。
- お問い合わせ
 - 横浜訓盲学院普通部
 - 電話045（662）1710